

末永く円満に 夫婦の節目を祝う

福祉顕彰式が行われ、長年連れ添った夫婦の節目を祝いました。

今年は、88歳を迎えたご夫婦33組、結婚60周年を迎えたダイヤモンド婚のご夫婦7組、結婚50周年を迎えた金婚のご夫婦16組が顕彰されました。

式では倉光市長が「今後ともご夫妻が円満で末永く、お元気でお過ごしになることを切に願います」と祝福の言葉を贈りました。

ダイヤモンド婚を迎えた渋谷登さん・ユキさんご夫婦は、夫婦円満の秘訣について「たくさんけんかもするけれど、笑顔でいることが大事」と話していました。

また、アトラクションでは育実幼稚園の園児による元気いっぱいのおさこいが披露され、会場を大いに盛り上げました。



倉光市長から顕彰状が手渡されるダイヤモンド婚夫婦

空手で二冠！ 加福さんに県高齢者知事顕彰状



倉光市長に喜びを報告する加福さん

令和6年11月16日に開催された「第23回熟練者全国空手道選手権大会」に出場した加福明浩さん(木造)が、個人戦男子60歳の形の部・組手の部で優勝し、その功績が認められ、令和7年度青森県高齢者知事顕彰状が授与されました。

この顕彰は、令和6年度中にスポーツ・文化の全国大会などで特に優秀な成績を収め、高齢者の健康づくりや生きがいづくりに希望を与えた方に贈られるものです。加福さんはこの日、倉光市長を表敬訪問し、授与の喜びを報告しました。

倉光市長は「これからも地域の空手界を力強くけん引してほしい」と期待を寄せました。

加福さんは「けがをしても続けさせてくれた家族の理解や、仲間たちの支えのおかげ。これからも自分の稽古に励むとともに、道場の子どもたちや会員の指導に力を注いでいきたい」と喜びを語りました。

日米交流かかし作り 金賞は「とったど〜」に輝く

7月16日に開催された東北防衛局主催の「かかし作り交流プロジェクトinつがる2025」において、米陸軍車力通信所と車力小学校(佐々木綾子校長)の5年生が制作したかかしの表彰式が行われました。

見事金賞に輝いたのは、大間のマグロチームが制作した「とったど〜」という作品です。金賞を受賞したチームの長内松鈴さんは「マグロを釣る様子をリアルに表現することができた。金賞を取れてうれしい」と喜びを語り、キードル・ゴードン中尉は「子どもたちが頑張ってくれたおかげで、いい思い出になった。また来年も楽しみにしている」と話しました。



金賞を獲得した大間のマグロチーム

生態系保全への願いを込めて



8/19
平淹沼

放流した稚魚を見送る園児

かしわあぷるこども園(三浦里佳子園長)の年長児・年中児13人が、西津軽新田漁業協同組合(成田英世代表理事組合長)の協力のもと平淹沼にフナの稚魚を放流しました。

この活動は、子どもたちに生態系を保全することの大切さを学んでもらおうと毎年実施しているものです。今年は体長約3~4センチのフナ2,000尾を平淹沼に、1,000尾を山田川へ放流しました。

この日、水辺に並んだ園児たちは、バケツの中で泳ぐ稚魚を優しく放流し、園児全員で「大きくなあれ」「元気でね!」と大きな声をかけながら稚魚が見えなくなるまで手を振り見送っていました。

年長児の杉浦右京くんは「ちゃんと大きくなって、たくさん子どもを産んでほしい」と成長を願っていました。

児童がぎんなん荘を訪問 歌と踊りで笑顔を届ける

つがる市立向陽小学校の3年生57人と6年生50人が、総合的な学習の時間を利用してぎんなん荘を訪問しました。

この活動は、お年寄りの困りごとや寂しさについて理解を深め、自分たちにできることを考えることを目的としたものです。

この日、児童たちはぎんなん荘に到着すると、よっちょれやソーランを利用者の前で元気ハツラツに披露しました。最後に折り紙や手紙をプレゼントし、全員で「これからも元気にお過ごしください」と大きな声であいさつしました。

利用者からは「子どもたちがとても元気でかわいかった」「元気をもらい、一回り若くなりました」などの声が聞かれました。



9/19
ぎんなん荘

元気ハツラツによっちょれを披露する児童

児童が日本の伝統文化に触れる



9/22
稲垣小

真剣な表情で茶道を体験する児童

稲垣小学校(小枝晃嘉校長)が、表千家茶道稲垣サークルの会員を講師に招き、6年生14人が茶道体験を楽しみました。これは、歴史学習の一環として日本の伝統文化への理解を深めるとともに、地域社会との交流を図ろうと、今回初めて実施されたものです。

はじめに講師から飲み方の説明があり、児童たちは茶碗の持ち方や、茶碗を手前に2度回してから飲む作法などを確認しながら、講師がたてた抹茶を堪能しました。

お茶をたてる体験では、「川」の字を書くように肘から茶せんを動かし、最後に「の」の字を書くようにして茶せんを引き上げるとの説明を受け、児童たちは慣れないながらも真剣な表情で抹茶を泡立てていました。

蝦名陽太くんは「たて方で味が変わることがわかった。自分でたてた抹茶の味はおいしかった」と笑顔で話していました。

秋空の下、健脚競う つがる地球村一周マラソン

つがる市スポーツ協会(成田昭司会長)主催の「第21回 つがる地球村一周マラソン大会」が開催されました。各部門には、県内外から約600人がエントリーし、ランナーたちは爽やかな秋晴れのもと、さわやかな汗を流しながら健脚を競いました。

1も小学4～6年生男子で見事優勝した成田悠真さん(穂波小5年)は「作戦通り最初から飛ばして行って、1位を取れたのでとてもうれしい。来年も連覇を目指して頑張りたい」と笑顔で話しました。

各部門の記録はこちら



9/28
つがる地球村

会場内のコースを元気に走る子どもたち

明治安田から市に3度目の寄付



倉光市長に目録を手渡す菱沼一輝五所川原営業所長

明治安田生命保険相互会社青森支社が、地域住民の健康づくりや暮らしの充実を支援するために、「私の地元応援募金」として市に80万7200円を寄付しました。この募金は、「地元の元気プロジェクト」の一環として、同社とそのグループ会社の従業員が出身地やゆかりのある地域に対して募金を行い、それに会社の拠出金を上乗せして全国の自治体などへ贈呈するものです。

浅野善太郎市場統括部長は、「地元がいつまでも活気あふれる場所であることを願い、今後も一層支援を継続していく」と話しました。

倉光市長は、「今回いただいた寄付金は、高齢者向けのごみ出しサポート事業など、有効に活用させていただきます」と感謝しました。

(仮称)しゃりき温泉の建設工事がはじまる

市では、現在(仮称)しゃりき温泉の整備を進めており、令和8年10月から供用を開始する予定です。事業費は6億8千9百万円、建物の総床面積は494平方メートル。正面の壁は、チェスボードをモチーフにしたデザインとなっています。

この日、建設地において安全祈願祭が執り行われ、倉光市長は「新しい施設も、これまで同様、皆さまに愛される温泉として、また来訪者の皆さまにとって快適で魅力ある場となるよう、地域のシンボルとしての役割も担っていきます」と話しました。



10/9
(仮称)しゃりき温泉
建設地

工事の安全を願い、くわを入れる倉光市長



完成イメージ図